

◎注意事項をよくお読み下さい



# リソな 経済フラッシュ

## (ECB <欧州中央銀行> 理事会)

2019/6/7

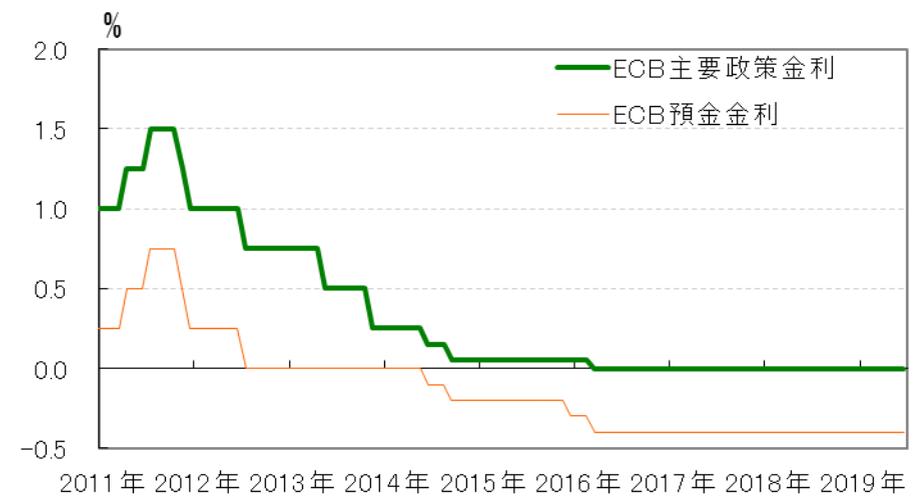
リソなホールディングス 市場企画部

### 〇概況

- ◆ 政策金利のフォワードガイダンスを「2020年前半まで」据え置くに延長
- ◆ 新たな資金供給策 (TLTRO-Ⅲ) の適用金利を発表
- ◆ 一部の委員は利下げの可能性に言及

- ✓ 6月6日に開催されたECB (欧州中央銀行) 理事会では、**政策金利を据え置き**、主要リファイナンス金利を0.00%、中銀預金金利は▲0.40%、中銀貸出金利は0.25%とした。
- ✓ フォワードガイダンス (将来の金融政策方針) は政策金利を「**少なくとも2020年前半まで**」据置くとし、前回の「2019年末」から延長した。また満期を迎えた債券の償還金に関して、長期間にわたり再投資を続けることを確認した。
- ✓ 2019年9月から2021年3月まで四半期ごとに2年満期の資金供給を行うTLTRO-Ⅲ (銀行への資金供給を通じて融資環境を整える) について、**適用金利を預金ファシリティ金利+0.1%にすると発表**。前回対比+0.1%引き上げた。
- ✓ ドラギ総裁は記者会見にて、**経済データは悪くない、デフレの可能性はない、リセッションの可能性も非常に低い**とした。一方、足もとの通商問題については真剣に見極めるとした。**貿易摩擦やBREXITなど世界的に景気への不透明感が高まる中、一部の委員は利下げの可能性に言及**。
- ✓ ドラギ総裁のコメントは市場が予想していたほどハト派的ではないとの見方から一旦は欧州金利、ユーロともに上昇したが、その後金利は低下。市場では先行きの緩和期待が引き続き燃る。

### 【ECB政策金利と預金金利】



### 【ECBスタッフ見通し (3月時点)】

	2019年	2020年	2021年
実質GDP成長率	+1.2	+1.4	+1.4
3月時点の見通し	+1.1	+1.6	+1.5
HICP (消費者物価)	+1.3	+1.4	+1.6
3月時点の見通し	+1.2	+1.5	+1.6

前年比、%

【出所】ECB、Bloomberg

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。